

「証券化市場の動向調査」

～2008年度の発行動向～

以下は、日本証券業協会及び全国銀行協会が毎月実施している「証券化市場の動向調査」(日本証券業協会ホームページ<<http://www.jsda.or.jp/>>参照)について、2008年度(2008年4月～2009年3月)の結果を取り纏めたものです。

図表データについては、別紙をご参照ください。また、参考として、「『証券化市場の動向調査』における項目毎の記載割合」を取り纏めています。

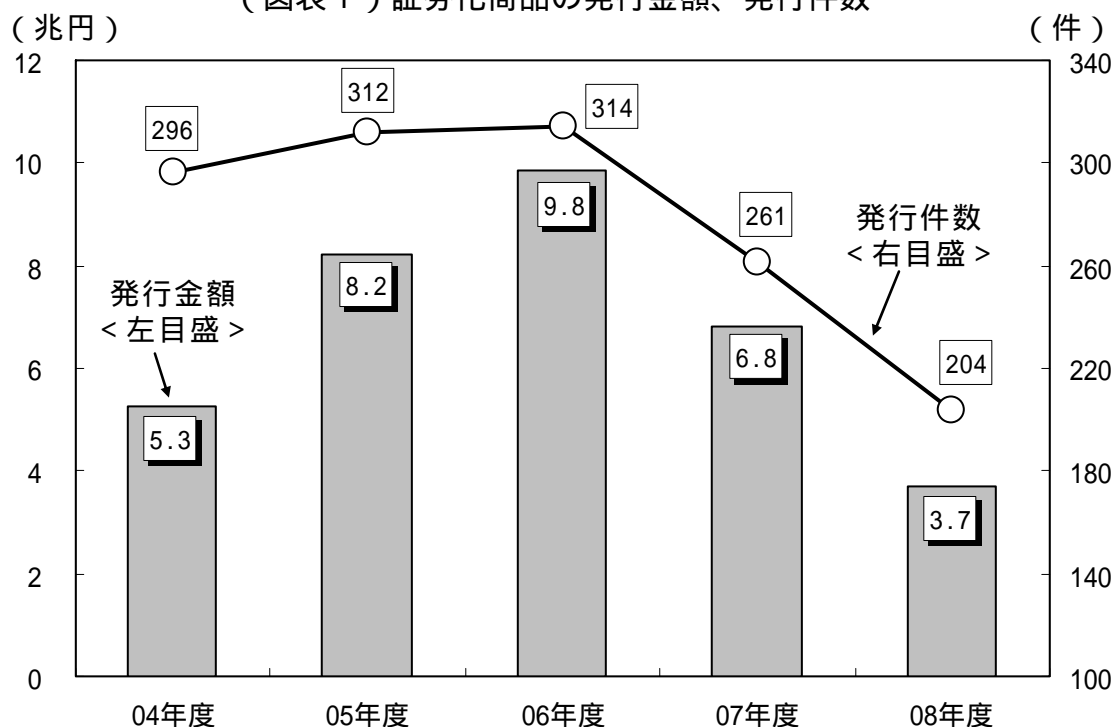
1. 証券化商品全体の発行動向

2008年度における証券化商品の発行金額は3.7兆円となり、調査開始(04年度)以来最小の規模となった(図表1)。

件数ベースでも、08年度(204件)は調査開始以来最小となった。

08年度における普通社債の発行金額(9.6兆円)を大幅に下回った。

(図表1) 証券化商品の発行金額、発行件数

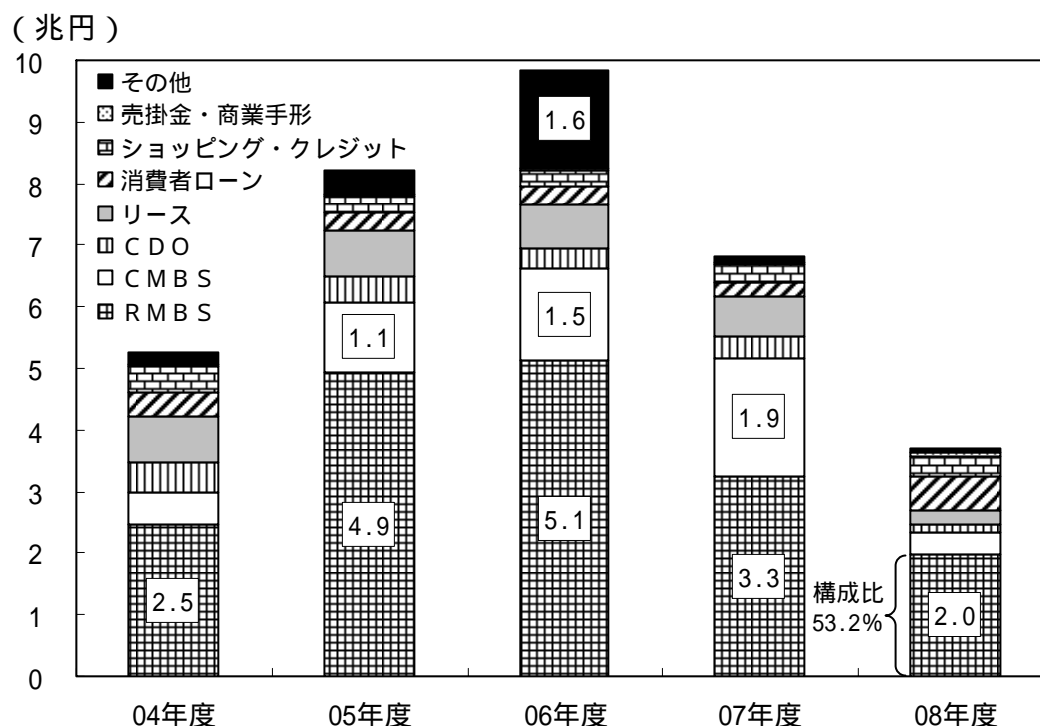


2. 裏付資産別の発行動向

2008年度における証券化商品の発行金額を「裏付資産」別にみると、住宅ローン債権等を裏付資産とした「R M B S (Residential Mortgage Backed Securities)」が2.0兆円と最も多く、全体の53.2%を占めた(図表2)。

前年度との対比では、商業用不動産担保ローン債権等を裏付とした「C M B S (Commercial Mortgage Backed Securities)」が1.5兆円減少した(07年度1.9兆円 08年度0.4兆円)ほか、R M B Sも1.3兆円減少した(同3.3兆円 2.0兆円)。

(図表2) 証券化商品の発行金額(「裏付資産」別)



裏付資産の具体的な分類は、以下のとおり。

「R M B S」: 住宅ローン債権、アパートローン債権

「C M B S」: 商業用不動産担保ローン債権、商業用不動産

「C D O (Collateralized Debt Obligations)」: 企業向け貸付債権、社債、C D S等

「リース」: リース料債権

「消費者ローン」: 消費者ローン債権、カードローン債権

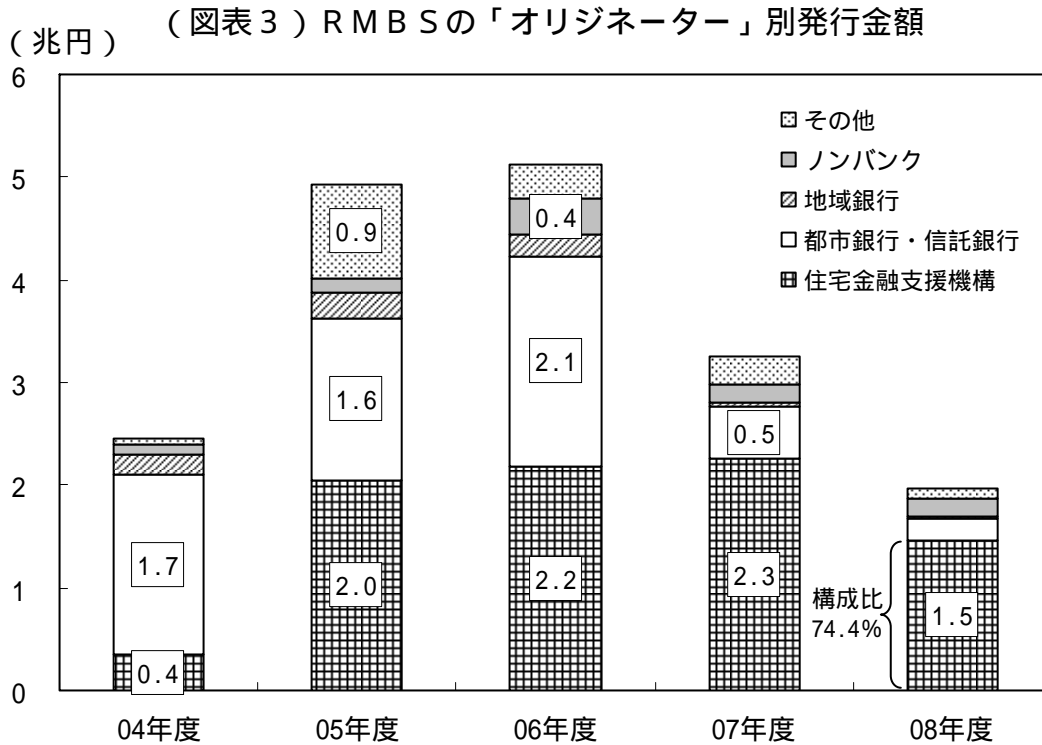
「ショッピング・クレジット」: ショッピング・クレジット債権、オートローン債権

「売掛金・商業手形」: 売掛債権、手形債権

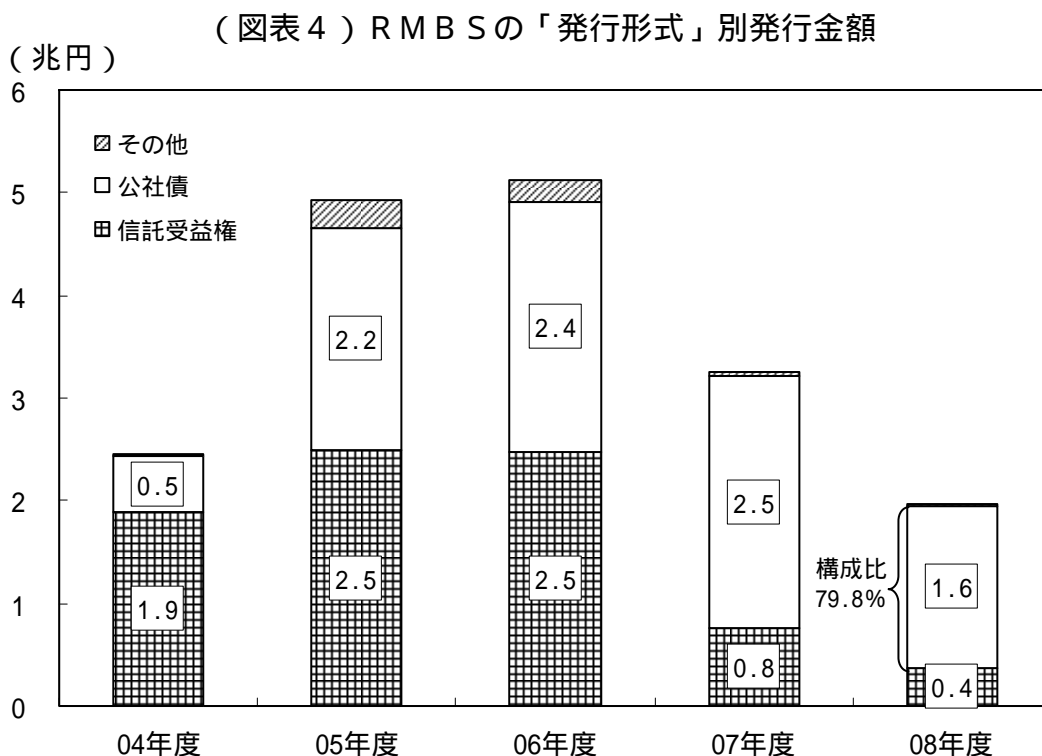
「その他」: 事業キャッシュフロー、診療報酬債権等

(1) R M B S

- ・ R M B Sの発行金額(2.0兆円)を「オリジネーター」別にみると、「住宅金融支援機構」(1.5兆円)が最も多く、全体の74.4%を占めたが、前年度(2.3兆円)との対比では0.8兆円の減少となった(図表3)。また、「都市銀行・信託銀行」(0.2兆円)も、前年度(0.5兆円)対比0.3兆円の減少となった。

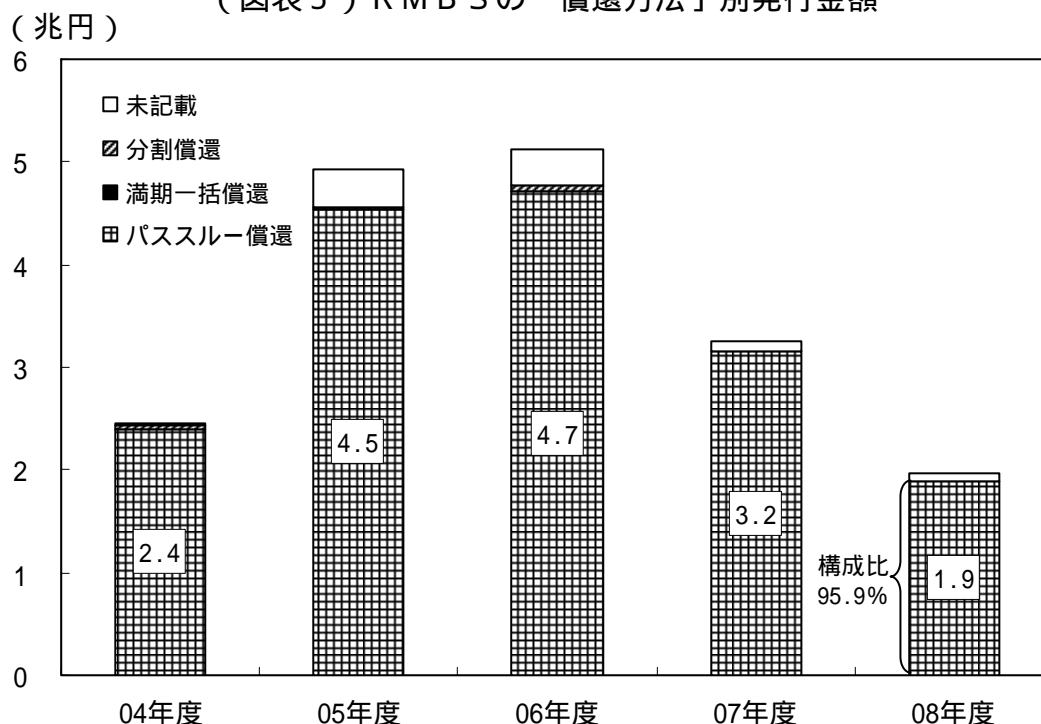


- ・ R M B Sの発行金額(2.0兆円)を「発行形式」別にみると、「公社債」(1.6兆円)が最も多く、全体の79.8%を占めたが、前年度(2.5兆円)との対比では0.9兆円の減少となった(図表4)。「信託受益権」(0.4兆円)も、前年度(0.8兆円)対比0.4兆円の減少となった。



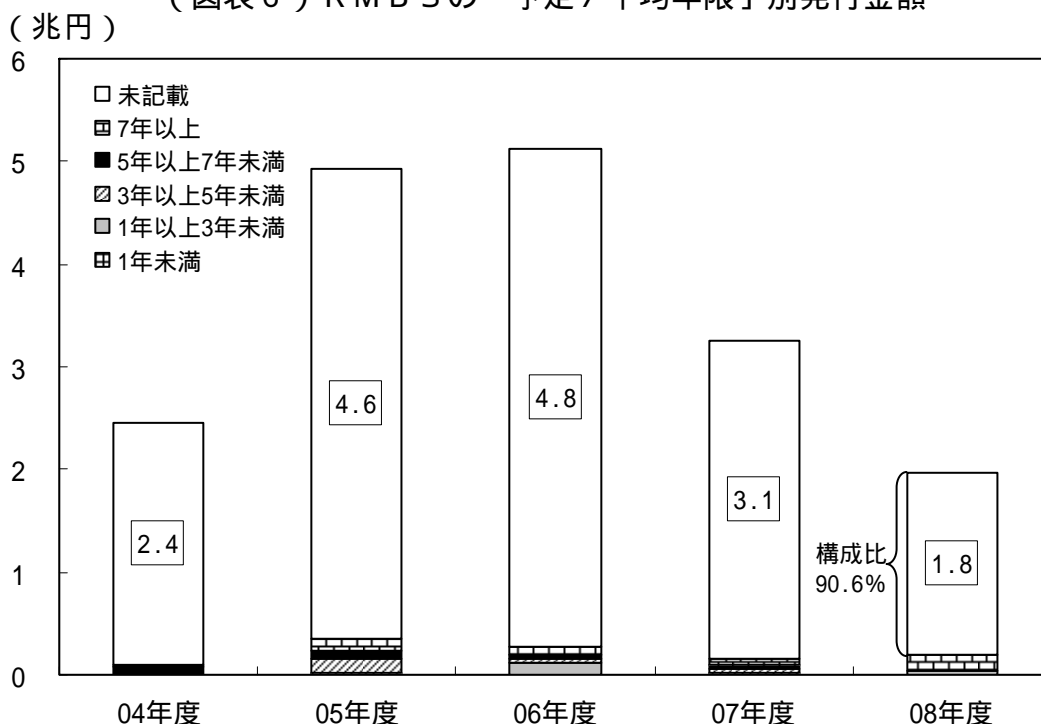
- ・ R M B Sの発行金額（2.0兆円）を「償還方法」別にみると、「パススルー償還（裏付資産の回収実績に連動して元本が償還される）」（1.9兆円）が全体の95.9%を占めた（図表5）

（図表5）R M B Sの「償還方法」別発行金額



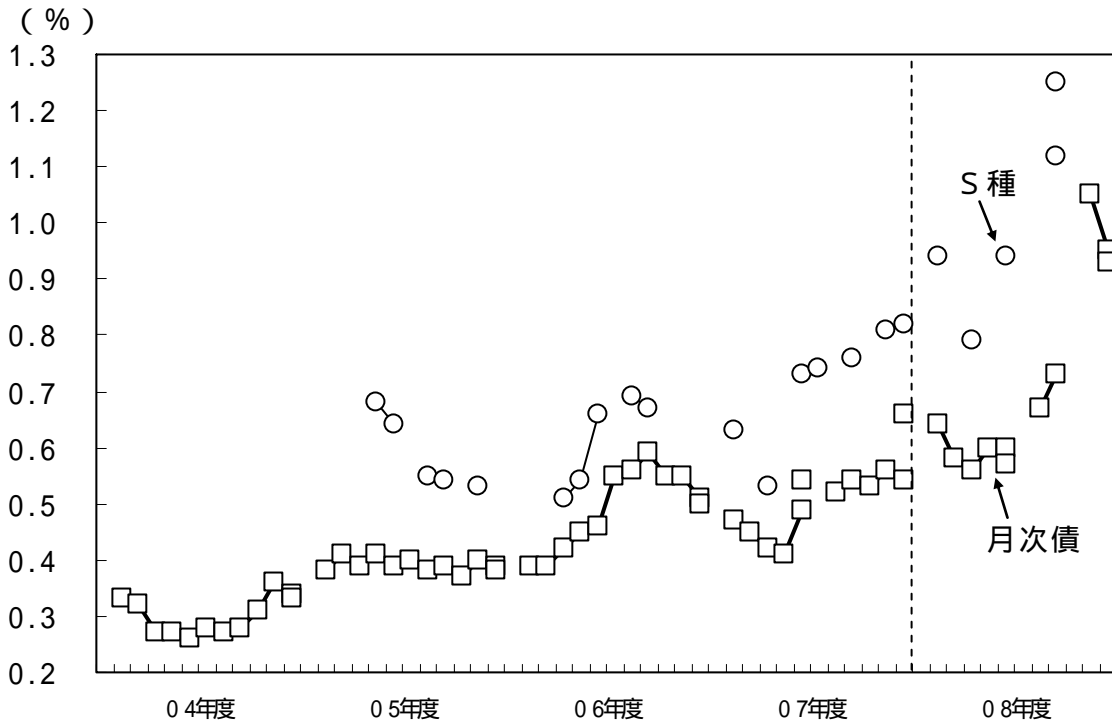
- ・ R M B Sの発行金額（2.0兆円）を「予定／平均年限（満期一括償還の場合は予定償還年限。分割償還が行われる場合は平均償還年限）」別にみると、「未記載」（1.8兆円）が全体の90.6%を占めたが、記載のあるなかでは、「7年以上」（0.1兆円）が最も多くなった（図表6）

（図表6）R M B Sの「予定／平均年限」別発行金額



- 住宅金融支援機構（旧住宅金融公庫）R M B Sのローンチスプレッド（表面利率と、条件決定時の国債利回りとの差）をみると、2008年度は拡大基調を辿った（図表7）。

（図表7）住宅支援機構（旧住宅金融公庫）R M B Sのローンチスプレッド

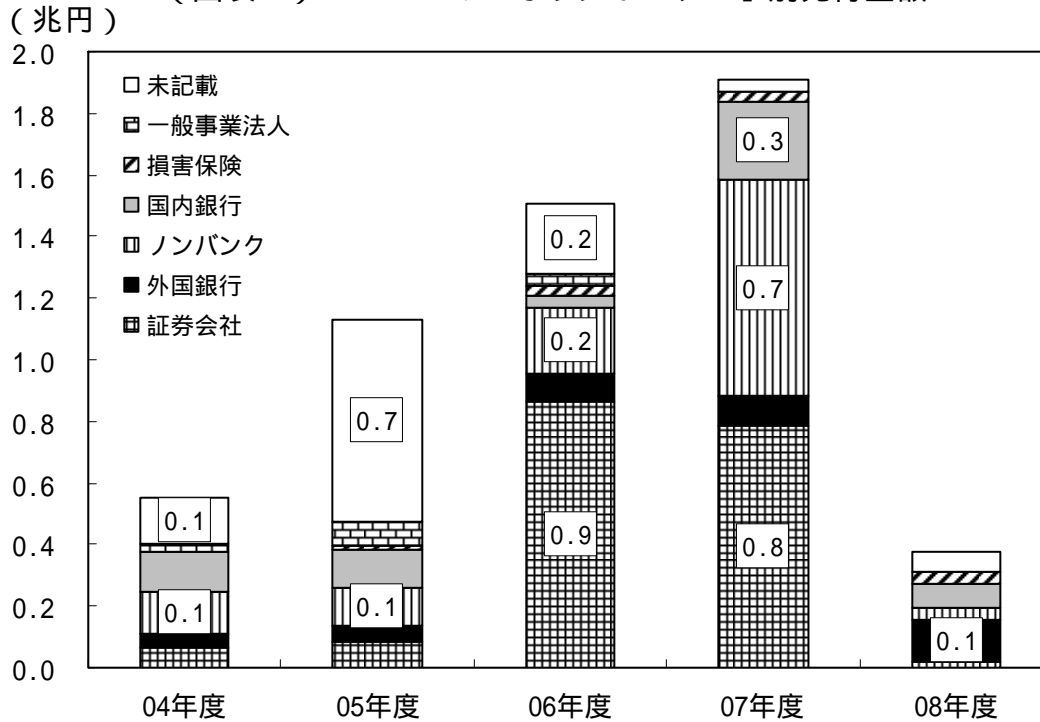


「S種」は、旧住宅金融公庫が過去に直接実行した住宅ローンを証券化した債券。

(2) CMBS

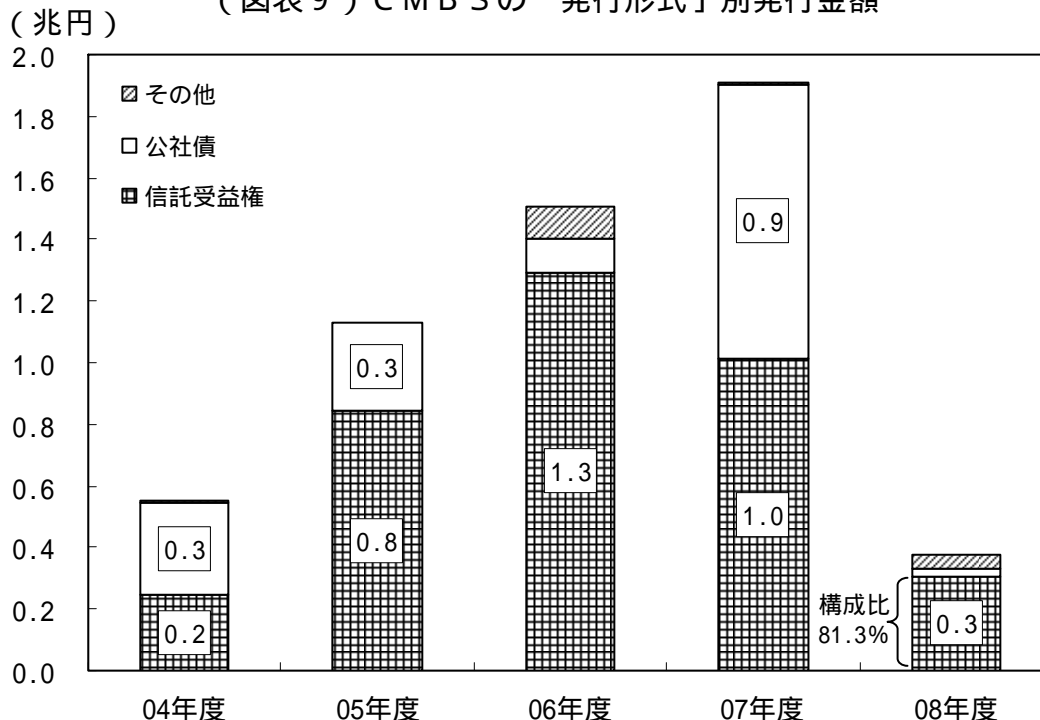
- CMBSの発行金額(0.4兆円)を「オリジネーター」別にみると、「外国銀行」(0.1兆円)が最も多くなった(図表8)。前年度との対比では、「証券会社」(07年度0.8兆円 08年度0.0兆円< 0.8兆円>)、「ノンバンク」(同0.7兆円 0.0兆円< 0.7兆円>)がともに大幅な減少となった。

(図表8) CMBSの「オリジネーター」別発行金額



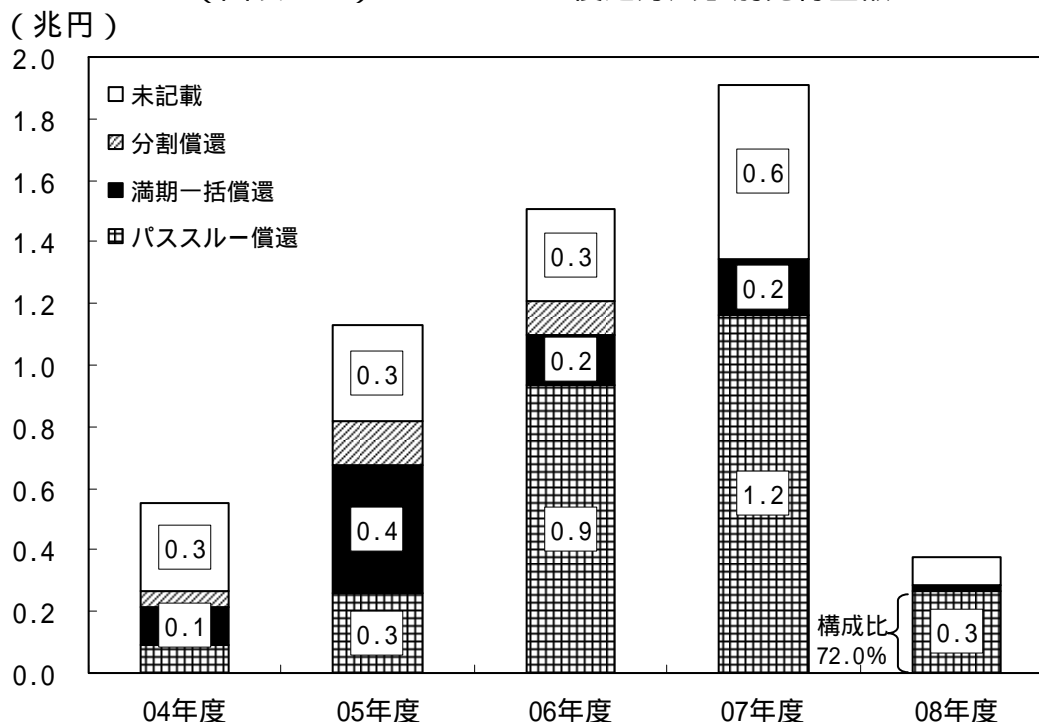
- CMBSの発行金額(0.4兆円)を「発行形式」別にみると、「信託受益権」(0.3兆円)が最も多く、全体の81.3%を占めたが、前年度(1.0兆円)との対比では0.7兆円の減少となった(図表9)。「公社債」(0.0兆円)も、前年度(0.9兆円)対比0.9兆円の減少となった。

(図表9) CMBSの「発行形式」別発行金額



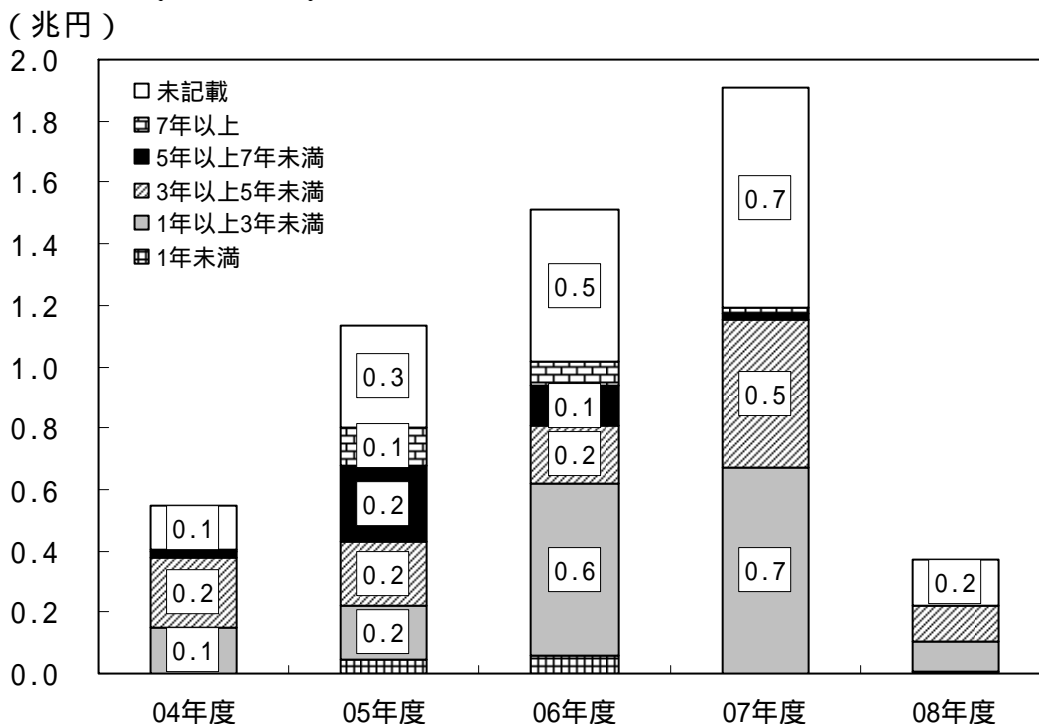
- ・ C M B S の発行金額 (0.4 兆円) を「償還方法」別にみると、「パススルー償還」が 0.3 兆円と最も多く、全体の 72.0% を占めた (図表 1 0) 。

(図表 1 0) C M B S の「償還方法」別発行金額



- ・ C M B S の発行金額 (0.4 兆円) を「予定 / 平均年限」別にみると、「未記載」(0.2 兆円) が最も多いが、記載のあるなかでは「1年以上3年未満」(0.1 兆円) 「3年以上5年未満」(0.1 兆円) が多くなった (図表 1 1) 。

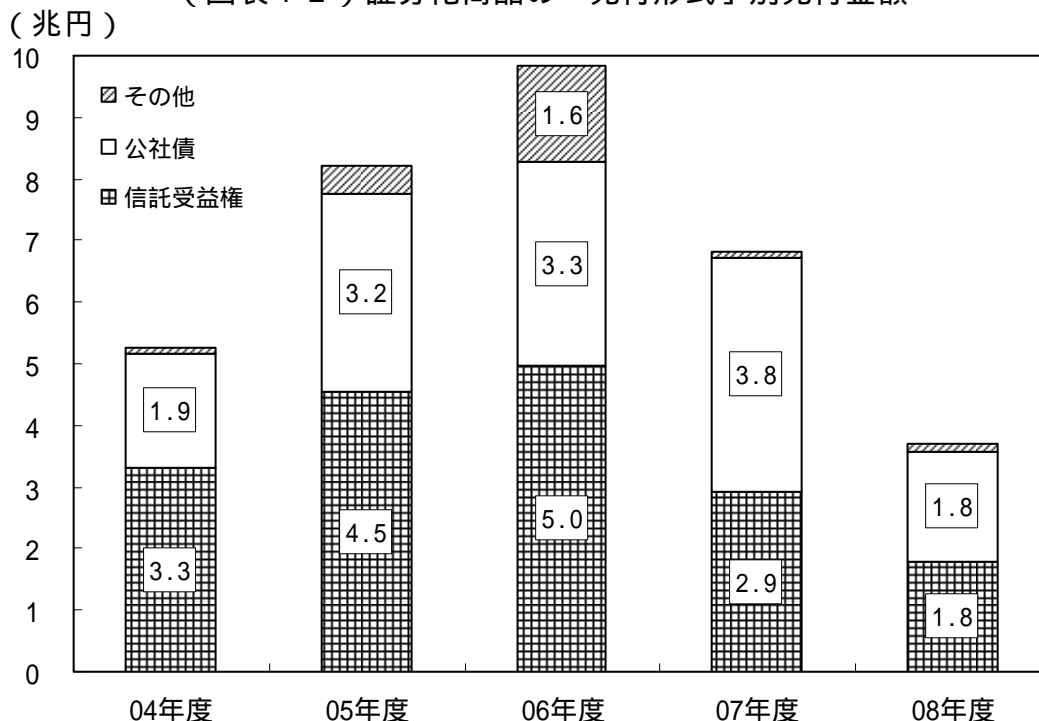
(図表 1 1) C M B S の「予定 / 平均年限」別発行金額



3. 発行形式別の発行動向

- 2008年度における証券化商品全体の発行金額(3.7兆円)を「発行形式」別にみると、「公社債」が1.8兆円、「信託受益権」が1.8兆円となった(図表12)。うち住宅金融支援機構(旧住宅金融公庫)RMB Sが1.5兆円。

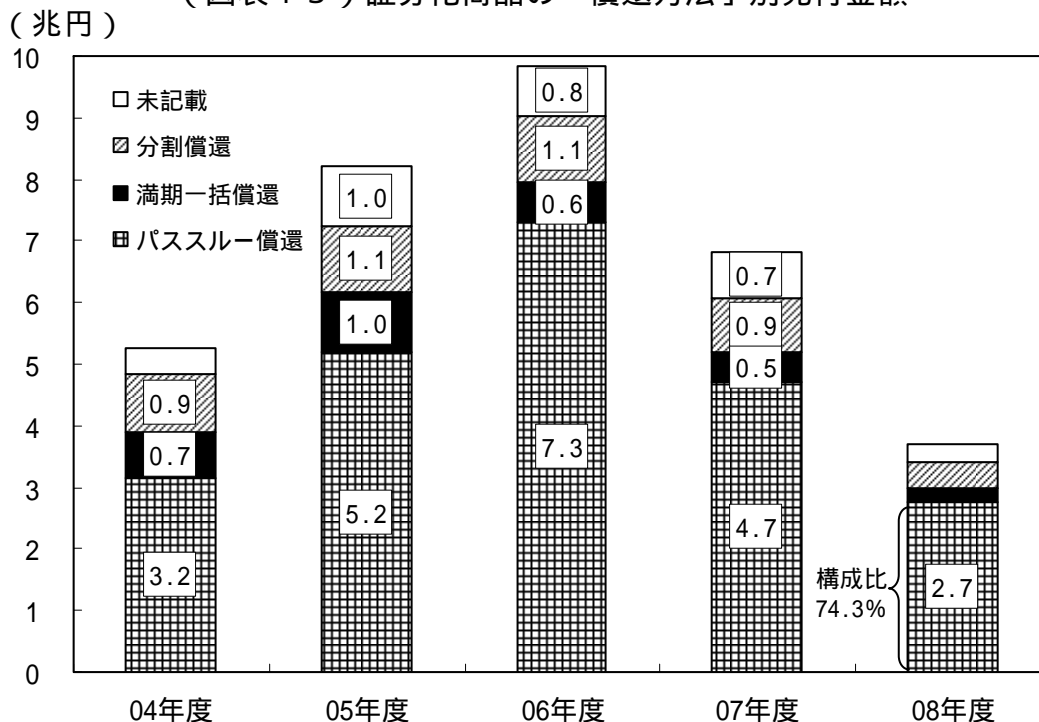
(図表12) 証券化商品の「発行形式」別発行金額



4. 償還方法別の発行動向

- 2008年度における証券化商品全体の発行金額(3.7兆円)を「償還方法」別にみると、「パススルー償還」が2.7兆円と全体の74.3%を占め、次いで「分割償還」(0.4兆円)、「未記載」(0.3兆円)、「満期一括償還」(0.2兆円)となった(図表13)。

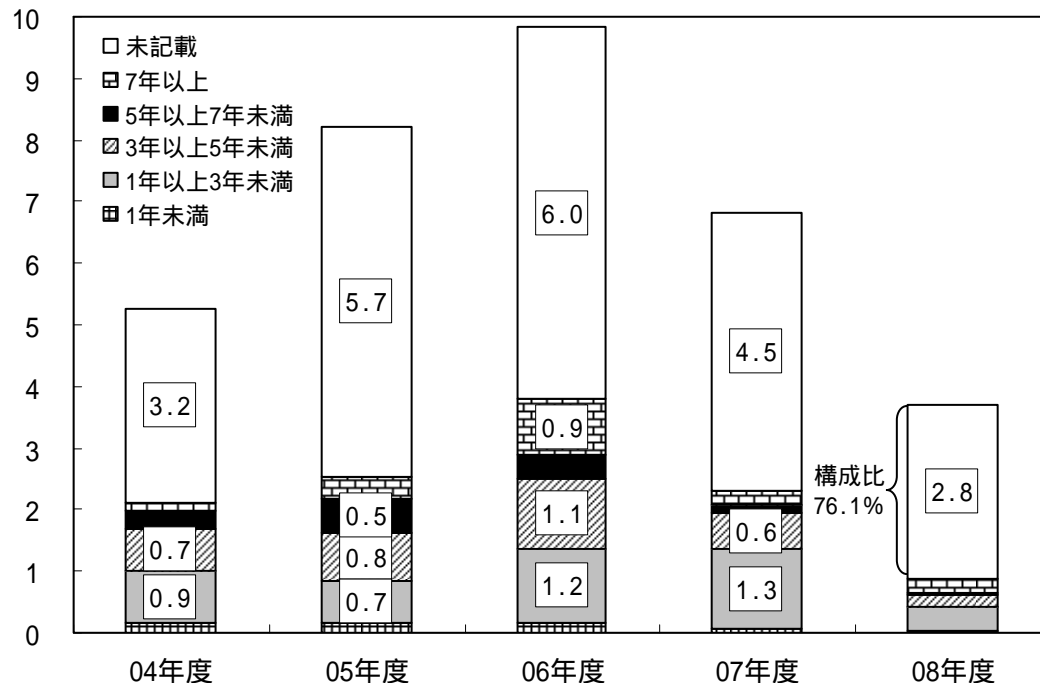
(図表13) 証券化商品の「償還方法」別発行金額



5. 予定 / 平均年限別の発行動向

- 2008年度における証券化商品全体の発行金額（3.7兆円）を「予定 / 平均年限」別にみると、「未記載」が2.8兆円と全体の76.1%を占めたが、記載のあるなかでは、「1年以上3年未満」が0.4兆円、「7年以上」が0.2兆円となった（図表14）。

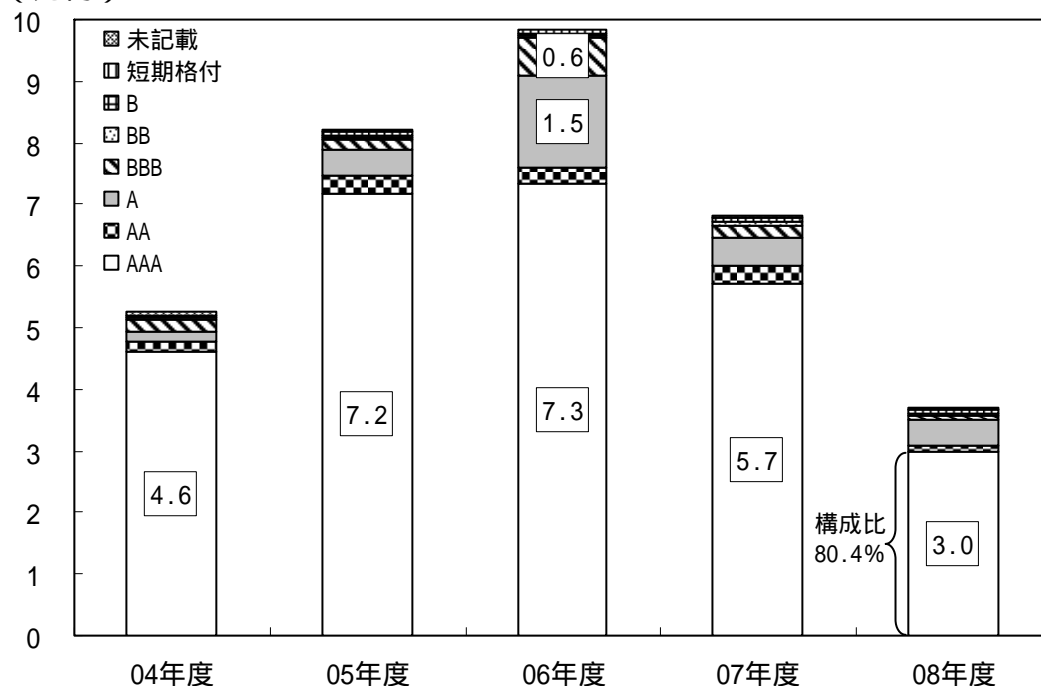
（兆円）（図表14）証券化商品の「予定 / 平均年限」別発行金額



6. 格付別の発行動向

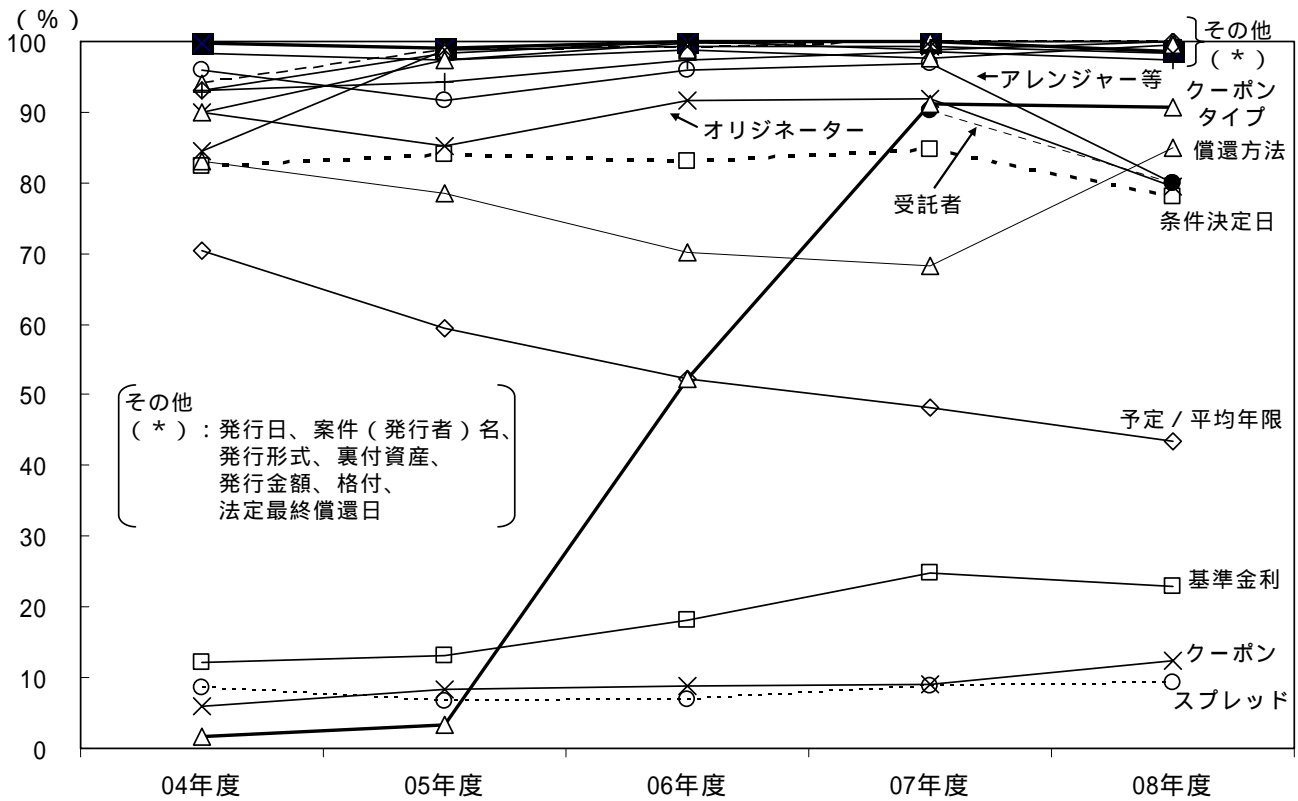
- 2008年度における証券化商品全体の発行金額（3.7兆円）を「格付」別にみると、「AAA」が3.0兆円と全体の80.4%を占めた（図表15）。

（兆円）（図表15）証券化商品の「格付」別発行金額



以上

(参考)「証券化市場の動向調査」における項目毎の記載割合(件数ベース)



単位: %(件数ベース)

	発行日	条件決定日	案件(発行者)名	オリジネーター	アレンジャー等	受託者	発行形式	裏付資産	発行金額
04年度	99.7	82.4	93.9	89.9	95.9	-	93.1	98.3	93.1
05年度	99.0	84.0	98.7	85.3	91.7	-	94.3	97.4	98.4
06年度	100.0	83.1	99.0	91.7	95.9	-	97.5	99.7	100.0
07年度	100.0	84.7	100.0	92.0	96.9	90.1	98.7	100.0	98.8
08年度	98.5	77.9	100.0	79.4	79.9	80.0	97.4	100.0	100.0

	予定/平均年限	法定最終償還日	償還方法	格付	クーポン	クーポンタイプ	スプレッド	基準金利
04年度	70.5	90.0	83.1	84.5	6.0	1.8	8.7	12.1
05年度	59.5	97.3	78.4	98.9	8.3	3.3	6.7	13.1
06年度	52.2	98.9	70.2	99.2	8.7	52.2	6.9	18.1
07年度	48.1	97.7	68.3	99.3	9.1	91.2	8.8	24.9
08年度	43.4	99.4	85.0	98.2	12.3	90.6	9.4	22.9